

イタリア・オペラ界の実力者が集結 当代一流のスタッフが描き出す青春群像

# ローマ・イタリア歌劇団

Italian Opera Company of Roma



スカラ座で数々の名舞台を制作してきたエルコーレ・ソルマーニ  
イタリアオペラの古き良き伝統を今に伝える、衣装、そして豪華絢爛な舞台セット

Photo by Riccardo Spinella

## G.プッチーニ ラ・ボエーム LA BOHÈME

原語上演・  
日本語字幕付き



芸術監督:  
ミケランジェロ・ズルレッティ



ミミ:  
キアラ・モジーニ  
キアラ・イゾット



ロドルフォ:  
ジュゼッペ・ディステファノ  
シモーネ・ディ・ジュリオ  
アメデオ・ディ・フォーリア



指揮:カルロ・バレスキ

出演:ローマ・イタリア歌劇団

2016年 6月19日(日) 14:15開場 15:00開演 **オーバード・ホール**(富山市芸術文化ホール)

全席指定 (税込) S席 14,000円 A席 12,000円 B席 10,000円 C席 6,000円 学生券 2,000円

※学生券は大学生以下50席限定。アスネットカウンターでのみ取扱 ※未就学児のご入場・ご同伴はご遠慮ください。

発売日 | KNB先行発売・アスネット会員先行発売 3月5日(土)のみ 10:00~18:00 | 一般発売 3月19日(土) 10:00~

※先行発売に関してはKNB北日本放送、アスネットカウンターにそれぞれお問合せください。

プレイガイド KNBオンラインチケット/アスネットカウンター 076-445-5511(オーバード・ホール1階)  
アーツナビ(富山県民会館・富山県教育文化会館・富山県高岡文化ホール・新川文化ホール)  
富山大和/高岡大和/ローソンチケット(Lコード: 52189)/チケットぴあ(Pコード: 290-359)

お問い合わせ 北日本放送事業局 076-432-5555(代)(受付は平日10時~17時)

主催:北日本放送、(公財)富山市民文化事業団、富山市 共催:北日本新聞社 後援:駐日イタリア大使館



# ローマ・イタリア歌劇団

「若手登竜門」で有名なイタリア・スポレート歌劇場を母体に、現代イタリア・オペラ界を代表する実力者たちが集結



イタリア・スポレート歌劇場



ブルゾン



デヴィーア



ヌッチ



ファンティーニ



サッパティーニ



バルチェッローナ

ブルゾン、デヴィーア、ヌッチ、ファンティーニ、サッパティーニ、そしてバルチェッローナといった偉大な歌手たちを輩出している『若きオペラ歌手のためのヨーロッパ音楽コンクール』。このコンクールはイタリア・スポレート歌劇場が主催しています。今回の「ローマ・イタリア歌劇団」は、このスポレート歌劇場を母体に、ポロニャ歌劇場、サンタ・チェチーリア管弦楽団などのメンバーが加わりました。舞台セットは、スカラ座の有名デザイナー、エルコーレ・ソルマーニが制作したものを使用。スポレートの若い情熱を、熟練の演者が受け止める、まさに「ラ・ボエーム」のための理想的な陣容です。

## 【指揮】

### カルロ・パッレスキ



スポレート歌劇場「仮面舞踏会」で好評を博し、指揮者としての華々しいデビューを飾る。カーネギーホールなど世界の音楽の殿堂に招待されること多数。過去共演した名歌手も数多く、L.パヴァロッティ、L.ヌッチ、R.ブルゾン、J.クーラ、N.ファンティーニ、D.ヴォイト、D.バルチェッローナなどとの共演で絶賛された。国際的なオペラ演出家からの信頼も篤く、F.ゼツフィレリ、チャン・イーモウなどオペラの音楽面を一任された。メータ指揮北京・紫禁城にて上演された大イベントオペラ「トゥーランドット」を日韓共催ワールドカップ競技場にて指揮した。



ミミ  
キアラ・イゾットン  
Chiara Isotton



ミミ  
キアラ・モジーニ  
Chiara Mogini

※各キャストはトリプルあるいはダブルキャストになります。



ロドルフォ  
ジュゼッペ・ディステファノ  
Giuseppe Distefano



ロドルフォ  
シモーネ・ディ・ジュリオ  
Simone Di Giulio



ロドルフォ  
アメデオ・ディ・フーリア  
Amedeo Di Furia



マルチェッロ  
ロドリゴ・エステヴェス  
Rodrigo Esteves



マルチェッロ  
コスタンティーノ・フィヌッチ  
Costantino Finucci



ムゼツタ  
サブリナ・コルテーゼ  
Sabrina Cortese



ムゼツタ  
クラウディア・サッソ  
Claudia Sasso

## ローマ・イタリア歌劇団《ラ・ボエーム》の魅力

オペラになった青春賛歌、《ラ・ボエーム》。この作品がこれほどリアルで美しいのは、作曲したブッチーニ自身の体験が反映されているからだとも言われる。決して裕福ではなかったブッチーニは、ミラノ音楽院時代、貧しいながらも仲間恵まれた学生時代を過ごした。

そんな《ボエーム》は、やはり若い歌手たちで体験したいオペラだ。フレッシュな顔ぶれだからこそ、若き日の物語を体感できるのではないだろうか。

このたび来日する「ローマ・イタリア歌劇団」は、歴史ある音楽祭「二つの世界音楽フェスティバル」の開催地としても知られるイタリア中部の古都スポレートの本拠とするオペラカンパ

ニー、「スペリメンターレ（「期待の」意）劇場」（「スポレート歌劇場」と呼ばれること）のメンバーが中心となっている。スペリメンターレ劇場は、若手歌手の育成を目的に、1947年に創設されたカンパニーで、毎年歌手発掘のためのコンクールを主催し、コレリ、バステアニーニからブルゾン、ヌッチ、デヴィーア、ライモンディ、最近ではバルチェッローナまで、そうそうたる歌手を世に送り出してきた。文字通り世界への登竜門であるこのカンパニー、今回の顔ぶれも、遠からず国際舞台へと羽ばたいて行くにちがいない。

イタリアらしい美感にあふれた、伝統的な演出が体験できるのも嬉しい限り。プロダクションは昨夏初演されたものだが

## 音楽評論家 加藤 浩子

（ジョルジョ・ボンジョヴァンニ演出）、有名な画家兼デザイナーで、スカラ座の美術監督もしていたエルコーレ・ソルマーニが制作した歴史的なセットが使われている。つましい屋根裏部屋も、カルチェラタンの喧騒も、冬のバリの凍てつく明け方も、リアルに感じ取れるすぐれたプロダクションだ。スポレートで指揮者デビューを飾り、オペラや歌手のコンサートに豊富な経験を持つカルロ・パッレスキの指揮にも期待したい。

イタリアの劇場ならではの美しい舞台に、将来を期待されるイタリアの声が集う《ラ・ボエーム》。作品の本質を再現する理想的な公演に、どうぞご期待あれ。

入場券ご購入にあたり、次のことをあらかじめご承知おき下さい。①やむを得ない事情で出演者等が変更になる場合がございます。最終的な出演者は当日発表とさせていただきます。②お問い合わせいただきましたチケットのキャンセル・変更はできません。③開演時間に遅れた場合、休憩まで入場をお待ちいただくが指定場所でのお立ち見となります。余裕をもってご来場ください。④場内での写真撮影、録音、録画は固くお断りします。⑤未就学児の入場はご遠慮下さい。⑥ネットオークションなどによるチケット転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。